

令和4年度
小海小学校グランドデザイン

学校教育目標

かしこく

きよく

たくましく

【学校長の願い】
・ 続くコロナ禍にあって、情報を正しく判断し、自分が何をすべきかを考え実行できる子どもたち
・ グローバル化、技術革新、少子高齢化など、予測困難な未来の担い手として生きる力を育む子どもたち

学びづくり

自分の考えを持ち、友だちと共に考えを深め合おう
主体的・対話的で深い学び

心づくり

挨拶や、「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言えるようになろう
全校の合い言葉「人が悲しむことを、しない、いわない。」

体づくり

目標を持って、進んで体を鍛えよう
早寝・早起き・朝ごはん・排便の生活習慣づくり

生きぬく力

- 生きて働く知識・技能の習得
- 未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力
- 学びを人生や社会に生かす
学びに向かう力・人間性等

「正しく表すことができたよ。」「〇〇と同じように考えると・・・」
→ 学びを生活にいかす
「友達と相談しながら考えよう。」「前に使った方法でやってみると・・・」
「どうして失敗したのかな。もう一度考えてみよう。」
→ 既習の学習内容をいかし 新たな学びを発見する
「学校のためにできることは・・・」「学年を越えて関わるとたのしいな。」
「みんなで話し合っって考えられて良かった。」
→ よりよい生活や 人間関係を 自主的に形成する態度

重点
目標

自分らしさを発揮し、自ら問い自ら学ぶ子どもたちの育成をめざして
～ ヒト・モノ・コトを 見つめて つながり 表現する ～



土台づくり

『こみ清掃』の心で、心をこめて美しく磨き上げよう」「感謝の気持ちを持ち、給食を食べよう」
「みんなで心を合わせ、歌声を響かせよう」「たくさんの方に会い、心を豊かにしよう」
★自己肯定感を高め、他者との関わりを通して、自尊感情と他尊感情を高めていく
★全ての子どもたちが尊重され、確かな学力を身につける授業づくり・学級づくり

◎2022年度 学力向上プラン ～問題発見・解決能力を育てる活動～

- ・ 教室環境ならびに授業のユニバーサルデザイン化を図る
- ・ キャリア教育の視点をもとに、各教科・領域、総合的な学習の時間の関連づけを図る
- ・ NIE指定研究を生かした豊かな学びの実現

家庭・地域との連携

- ・ 学習ボランティアとの連携
- ・ 学校、学級の方針を理解してもらい共に子どもを育てる

個に応じた指導

- ・ 個別支援計画等の作成と更新
- ・ 一人一人の特性を理解し 個に寄り添う職員の姿勢

授業づくり

- ・ ねらいを明確にした学習
- ・ ふりかえりの充実
- ・ 電子黒板・一人一台端末の活用

職員研修

- ・ 公開授業、研究会の実施
- ・ 外部講師による指導、研修
- ・ 他校での研修参加、情報共有

体力向上プラン

～心身共に健やかな育ちを願った年間通しての活動～

- ・ 地域性を生かしたスケート学習を奨励する
- ・ 縄跳び運動にも力を入れ、年間を通し運動を好む気質を育てていく

～ふるさと小海の「ヒト・モノ・コト」に学び、ふるさとを愛し、未来を生きる子どもを育成する生活科、総合的な学習の時間を中核とした学び～

- 【地域の自然や人などのかかわり、自ら問いを見つけ出し学びに没頭する】
○実社会や実生活、小海町の豊かな自然とのかかわりの中から問いを見つけ出し自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する
- ・ 地域に生きる人とつながり学ぶ
 - ・ 地域の自然・歴史・文化・産業などに学ぶ
 - ・ 情報化社会にかかわる学び(プログラミング教育、情報モラル教育など)

～保小中高の学びや育ちの連続性や系統性を充実させる取り組みの推進～

- ・ 発達段階に応じた児童の特性の共通理解
- ・ 保育園の年長児と小学校1年生との交流タイム
- ・ 小学校6年生と中学校1年生との交流学習
- ・ 小学校の授業公開を通じた保小中の連携
- ・ 高校生との交流を通じた異校種間の連携

小海町・地域の願い

○これからの小海町を担う子どもの育成 ○ふるさとの良さを感じ、ふるさとに心を寄せる子どもの育成